

スクールソーシャルワーカー(SSW)の配置

予算額:4,124 千円

1.目的

児童生徒をめぐる問題(不登校、いじめ、虐待)については、学校だけでの問題解決が困難なケースも多く、積極的に関係機関等と連携した対応が求められている。各中学校に社会福祉等に関する専門的な知識や技術を有するSSWを派遣することにより、学校と外部の関係諸機関との連携体制を構築し、児童生徒と家庭(保護者)の問題解決に繋がるようサポートする。

2.内容

不登校やいじめ等の生徒指導上の課題に対応するため、社会福祉等に関し専門的な知識や技術を用い生徒が置かれている様々な課題を分析・評価し支援するSSW1名を配置している。

SSWは、週3日・1日6時間 我孫子南中学校を拠点校として活動し、「こどもサポートネット事業」と連携して支援を行っている。各学校園からの要請に応じて派遣も行う。また、SSWに対し、専門的実践を行ううえでの指導・助言等をするスーパーバイザー(SV)を委嘱、月1回程度SSWへ指導・助言等を実施している。

3.令和4年度事業指標・実績

指標:SSWを活用して解決を図ろうとした事案36件以上

実績:SSWを活用して解決を図ろうとした事案35件

実績内容

- 対応件数35件(うち不登校17件、児童虐待6件、家庭環境の問題25件) ※重複あり
- スーパーバイザーによるスーパーバイズ11回
- こどもサポートネット SSW、推進員等との連携
- スクールカウンセラーとの情報共有

成果と課題

中学校に拠点を置くことで、児童・生徒・教職員と信頼関係が構築されてきている。問題や課題を早期に発見、対応していくために引き続き拠点校での取組みが必要である。

4.令和5年度事業内容

指標:SSWを活用して解決を図ろうとした事案 36 件以上

教育文化課 SSW が学校内で児童生徒の不登校やいじめ等の問題の発露から関わり、本人や家庭における課題を早期発見、適切な関係機関に繋げることにより解決を図ってきている。今年度においても 1 名の SSW を雇用し、我孫子南中学校に拠点配置した。

資料1

今年度、住吉区こどもサポートネット事業 SSW4名と、課題解決支援員(SSW)1名が住吉区内に派遣されたことから、当区は SSW による児童生徒の支援体制の充実を図るため、中学校区ごとに拠点を1か所設定し、活動することとしている。

(参考:令和5年度 住吉区内で活動する SSW)

	本来目的の業務	左記以外の業務	配置数	採用
教育文化課 SSW	不登校対策	学校内で発見した児童生徒をとりまく問題の解決	1名	区
こサポ SSW	貧困対策事業(こどもサポートネット事業における、学校スクリーニング会議でのアセスメント、福祉との連携)	学校内で発見した児童生徒をとりまく問題の解決	4名	教委
課題解決支援員 (SSW)	教員働き方改革(教員の超過勤務削減)	学校内で発見した児童生徒をとりまく問題の解決	1名	教委

現在の状況(6月末現在)

- 対応件数23件(うち不登校3件、児童虐待3件、家庭環境の問題6件、人間関係の問題8件、発達障がい3件)
- 接続小学校(苅田南小)での対応件数8件
- スーパーバイザーによるスーパーバイズ3回
- こどもサポートネット SSWとの連携
- スクールカウンセラーとの情報共有